

佳作

「大好きなお父さん」

ほくのお父さんは、自えい隊のヘリコプターのパイロットです。今お父さんの乗っているヘリコプターは、UH-60Jです。上が白色で下がオレンジ色のかっこいいヘリコプターです。

救なんヘリコプターで、よく夜中に電話がかかってきて仕事場に行きヘリコプターに乗って病気の人たちを病院のヘリポートまで運びます。他にも海でそうなんした人たちを助けたりします。

三月十一日の東日本大震災のはけんでやく一ヶ月間青森県に行つて、そこから福島県や岩手県でそうさくに行きました。ほくは、テレビのニュースで自えい隊の人たちががんばっているなあと分かりました。その中でお父さんもすごくがんばっているのだなあと思いました。お父さんが青森県から帰つてきてほつとしました。

お父さんの休みの日にたまにお父さんの乗っているヘリコプターを見せてくれます。いろいろ説明をしてくれるけどほくはヘリコプターを前にしたらそれどころではなく乗りたい気持ちがいっぱいです。お父さんの仕事場にもよく連れて行つてくれます。パソコンがいっぱいあって大きな地図があるヘリコプターのルートが書いてあったりしてお父さんはすごい所で働いているのだなあと思いました。

ほくは一回だけシミュレーションをやった事があります。そ

千葉県

館山市立館山小学校 四年

平野 寿晃

うさをする機械がいっぱいあるので1つ1つおぼえるのが大変だなあと思いました。

本物のUH-60Jにも乗ったことがありますが、お父さんのそうじゅうをしているヘリコプターには乗れません。なぜなら家族はいつしよに乗れないからです。いつかいつしよに乗る時はお父さんといっしよにそうじゅうする時です。

お父さんが休みの時は少ないですが休みの時はおもいつきり遊んでくれます。

ほくが一番楽しい時は、お風呂に一緒にはいつている時です。男二人でいろんな話をしたりお湯のかけあいをしたりせ中をながしたりします。お湯のかけあいをしているとお母さんに、おこられますがお父さんと2人でわらつてごまかします。そしてまたかけあいをしてもまたおこられてのくりかえしです。でもそれが楽しくてやめられません。

よくお父さんがかみを切りに行く時にほくも一緒に行きます。お父さんはすごくこだわりがあつていつも同じ人にかみを切つてもらつていてほくもいつも同じ人によつてもらいます。ほくにもこだわりがあつてもみ上げは自然にと言っています。

ほくはお父さんのようにヘリコプターのUH-60Jのパイロットになりたいです。そしてお父さんの事をほこりに思っています。